

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス挙島駅前教室			
○保護者評価実施期間	2025年11月4日 ~ 2025年11月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	放課後等デイサービス：47 児童発達支援：32	(回答者数)	放課後等デイサービス：24 児童発達支援：26
○従業者評価実施期間	2025年11月25日 ~ 2025年12月12日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月13日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<放課後等デイサービス・児童発達支援> 保護者への支援の説明、子どもについての共通理解がよくできている。	<ul style="list-style-type: none"> 放課後等デイサービスでは6か月に1回、児童発達支援では4か月の短信(目標に対してモニタリング報告)をお渡しし、目標に対する評価を共有している。 毎月配布している通信に掲載が間に合わなかった内容についてはSMSを通して連絡する等、予定の変更、イベントについて等、随時共有できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> わからないこと、困っている時等、すぐに連絡や面談ができる環境を整える。
2	<児童発達支援> 保護者支援、保護者と情報を共有する機会の充実。	<ul style="list-style-type: none"> フィードバック時に子育てにおいての心配や悩みごと等を共有し、家庭できること等を伝えている。 保護者からのご希望に合わせて面談を実施する等、対応をしている。 利用者の幼稚園や保育園への見学を行い、様子を保護者のに 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭で困っている様子等があれば面談ができるようにスタッフから保護者に声をかける。 幼稚園や保育園への見学や連携を増やす。
3	<放課後等デイサービス・児童発達支援> 当事業所のみならず、会社全体で児童発達から自立訓練、就労移行支援と切れ目のない支援を実施している。	<p>将来像から逆算して『今、身に着けておくべきことが何なのか?』という視点で支援を行っている。 事業所内では、児童発達支援利用の年長児に向けて放課後デイサービスの体験会を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事業所間で連携を行う。 放課後等デイサービスや自立訓練、就労移行支援のトレーニングを見学し、それぞれの事業所でのトレーニング内容や様子について保護者の方に伝える。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<放課後等デイサービス・児童発達支援> 児童発達支援を利用した方でそのまま放課後等デイサービスを利用したい方がいるが100%受け入れはできない。	1日の利用定員を考えると定員オーバーしてしまうため、希望する方の全員は受け入れが難しい。	現在も行っているが、児童発達支援を利用している年長の方には放課後等デイサービスについての説明を空き状況を踏まえて早い段階から告知していく。
2	<放課後等デイサービス> その日の活動内容や様子、スタッフが行った支援・対応等についての詳細を十分に時間を持って保護者の方へ伝えられないことがある。	お迎え時に保護者の方へお伝えはしているが、帰宅時間が利用者同士で重なることが多く、十分に時間が取ることが難しい。半年に1度の保護者面談や振り返りでは普段の様子や事業所の対応についてお伝えしているが、必要に応じていつでも面談実施や様子をお伝えすることができる旨は周知している。	送迎時にお伝えするだけでなく、必要に応じて後日電話連絡等を行なながら、トレーニングや支援の様子を伝えることを今後も行ってゆく。 保護者の方が気になってることや知りたいことを聞き、安心してもらえるような働きかけ、声掛けを行う。
3	<放課後等デイサービス・児童発達支援> 言語聴覚士、理学療法士による専門的な支援を提供できない。	言語聴覚士、理学療法士のスタッフが在籍していない。	他機関での検査結果や助言を保護者の方に共有してもらい、療育時に反映させることを今後も行ってゆく。 勉強会や研修会を通して、全スタッフの支援力向上を図ってゆく。